

ぎやま市 議会だより



平成28年10月27日発行 発行責任者：ぎやま市議会議長 編集：議会広報特別委員会

【主な内容】	
ぎやま市子ども議会	2
7～9月会議で決めたこと	4
どえな予算のあと	5
委員会レポート	6
議案と審議結果一覧表	8
一般質問（7人が登壇）	10
ICT推進特別委員会から	14
ぎやま市へようこそ!!	14
市民の声	15
議会だよりクイズ	16



彦岐市子ども議会開催！

去る8月26日、今年で3回目の開催となる彦岐市子ども議会が開かれ、市内各中学校から16人の子ども議員が彦岐市の未来のため、市長・教育長に対し、質問・提言を行いました。



任命式

芦辺中学校

竹下桃香 議員・梅嶋梨子 議員・長岡里穂 議員・長元愛奈 議員



質問 高齢者の住みよいまちづくりについて

- ①彦岐市の道路や公共施設のバリアフリー化の進捗状況は？
- ②高齢者の人材活用の取り組みについて
- ③高齢者の在宅福祉の取り組みについて

提言

- ・高齢者は、人生の先輩であり様々な分野での知識や経験が豊富である。高齢者が「いきいきと生きる」、「いきいきと生かす」まちづくりにより彦岐の活性化につなげてほしい。
- ・芦辺中学校で作成した高齢者の交通安全を呼びかける標語やポスターを活用して、高

齢者交通事故防止のための活動に参加できないか。

- ・高齢者の社会参加活動を促し、活躍の場を広げるため、公共交通機関の利便性を高めることが重要である。

答弁

- ①道路を全てバリアフリー化するのは困難、既存施設全てのバリアフリー化についても建物の構造的問題や費用面から難しい。今後、建築する建物は、全てバリアフリー化で対応したい。
- ②定年退職後の高齢者の方々には、特別な知識、経験をお持ちの方が多数おられ、その経験等を活かすシルバー人材センターがあり、登録会員数は257名。人材活用や生きがいがづくり等のための公共交通機関の利便性を高める取り組みとして、彦岐市では75歳以上の方には1路線100円でバス利用ができるバスカードの交付、三島航路の利用料が無料となる三島航路乗船カードを交付している。
- ③高齢者集合住宅の建設は民間事業者により設置が進められており、彦岐市としては住み慣れた地域で安全で安心して暮らすことができる仕組みづくりに努力していく。



市長

石田中学校

松嶋真次 議員・坂井美海 議員・古賀彩歌 議員・長島来希 議員



質問 彦岐市内の就職について・スクールバス運行について

- ①彦岐市で就職するための支援やサポート体制は？ 職種を増やす方法は？
- ②スクールバスの石田方面の運行について検討されるのか？

提言

現在ある職業の中で雇用を増やすUターン、Iターン事業を積極的に進めてほしい。彦岐にない仕事を自分たちでつくっていくための環境を整えて欲しい。

答弁

- ①市内での就職を促進する為に企業説明会、企業情報誌を作成し企業の魅力を情報発信するとともに、企業に対して魅力ある職場づくりをしてもらえるようハローワーク及び長崎県と一緒にお願いをしている。また、市内高卒者を積極的に採用してもらうための若者ふさと就職支援事業やIターン・Uターンを含めて新たに農業・漁業にチャレンジする方への支援も行っており、企業誘致にも力を入れている。彦岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中でも働く場所をつくることをメインにしており、働く場所と住まいについても研究している。
- ②スクールバスの運行規則は、統廃合により校区が新しくなった生徒に乗車を認めるという事から始まり、今もそのままである。今後、スクールバスの協議がなされる場合は、石田中学校も4キロ近い通学距離を抱えた地区があるので、中学校生活の充実のためにはどのような形がいいのか保護者、地域、教育委員会で考えていく事になる。

郷ノ浦中学校

大島大青 議員・林田茉奈 議員・青柳菜穂 議員・横山結希 議員



質問 彦岐の環境保全について

- ①彦岐の島ホールの太陽光パネル設置の進捗状況は？ また、市内公共施設の太陽光パネルの設置状況は？
- ②空き家、空きビルの把握はできているか？
- ③新たな災害が起こる前に予防的・積極的に行っている環境保全活動はあるか？

提言

- ・太陽光パネルの設置について
新たに改装した建物や耐震工事後の建物に太陽光パネルを設置してはどうか、耐久性・

耐震性がある新しい施設ならば設置も容易となる。

- ・空き家・空きビルについて

状態によっては景観を損ねている空き家があるが、観光地の近くであれば観光客にマイナスイメージを与える。移住者の増加、人口増加につなげるため、空き家を彦岐市の負担で修理し貸し出したり、彦岐市に定住する人に改装費用の補助を増やしてはどうか。

答弁

- ①彦岐の島ホールの太陽光発電システムは今年の2月に完成し、太陽電池モジュールは128枚設置されている。蓄電設備を災害時に活用できることや成果としては電力料金の軽減やCO₂の削減に貢献している。本年度新たに建設する芦辺小学校には、太陽光発電設備、太陽電池モジュールパネル40枚とLED照明器具を設置する。

- ② 吉野市には空き家バンク制度があり、平成 28 年 8 月 15 日現在で 31 件の登録がある。空き家バンクに登録された物件を購入する場合、最大で 70 万円の補助があり、また、移住者が賃貸する場合、改修しなければならない時には最大で 75 万円の補助がある。
- ③ 土砂災害のおそれのある区域の現場調査を行っている。また、道路についても計画的に整備を行い、安全で災害に強い避難道路としての役割も担っている。災害箇所を記載した防災ハザードマップを各家庭に配付し、災害の発生しやすい梅雨時期の前に防災関係機関と防災パトロールも実施している。

再質問 過疎の島にならないための吉野市の未来像は

市外に働きに出れば空き家になり、人口が減ると商売が成り立たなくなるから空きビルになる等、空き家・空きビルになるのをくい止めることのほうが深刻な問題である。人がほとんど住まない過疎の島にならないための未来像は。

答弁 国境離島新法等の法律を駆使するとともに、吉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画の中で取り組んでいく。

勝本中学校

大久保凜 議員・土肥亜衣子 議員・松永侑奈 議員・土肥ちひろ 議員



質問 災害対策について

- ① 吉野市で地震災害が起こった場合、倒壊等の恐れがある家屋はどれくらいあるか？
- ② ハザードマップは市内のどのような場所にあるか？
- ③ 災害時の指定避難所の耐震化や土砂崩れの対策は？
- ④ 避難者への支援物資などの流通体制は？
- ⑤ AED が設置されている場所を市民は把握しているか？

提言

・災害による倒壊等が心配な建物には、補助金で改修工事の働きかけを行ってはどうか。

- また、災害対策のハザードマップは、危険レベル等を分かりやすく表示し、人が集まる場所に掲示すべき。
- ・災害時の避難所で特に必要になると思われる水、毛布、紙おむつ等の物資をあらかじめ準備してはどうか。
- ・被災した場合、被害状況に応じた支援金を受給できるようにしてほしい。
- ・AED の設置場所を書き入れた地図を各家庭に配付し、AED の使い方の講習会を公民館等で年 1 回実施してはどうか。

答弁

- ① 吉野市で直下型マグニチュード 6.9 の震源を想定した場合、木造で大破、中破を合わせて 17.5%、5,400 棟、鉄筋・鉄骨の非木造では 1.2%、27 棟の被害が予想されている。
- ② ハザードマップはホームページにも掲載しており、公共施設等掲示も進めている。
- ③ 避難施設 64 カ所全ての施設の耐震化を進めるとともに、土砂災害警戒区域に指定されている施設 4 カ所に対策を講じる。
- ④ 災害時に的確かつ迅速に事業者からの物資の供給が行われるよう吉野市商工会と協定を締結している。各家庭でも最低 3 日分の非常食、水等の非常持ち出し品を避難時にすぐ取り出せる場所に準備しておいていただき、吉野市はこの補完分として物資を備蓄する。
- ⑤ 各家庭から一番近い AED の設置場所を知っていただくような取り組みをしたい。自主防災組織や公民館等の活動で講習会を取り入れてもらうよう努める。

再質問 独自のアプリの開発は

災害対策や市民生活に活かせるアプリの開発は考えているか。

答弁 研究していきたい。

吉野市子ども宣言の決議

私たちが生活している社会は、情報化が進み大きく変化するとともに、環境問題や少子高齢化の問題、頻発する自然災害などの課題を抱えています。私たちは、子ども議会の開催を機会に、中学生の立場で、吉野市の現状をもとにしてこれからの吉野市のことについて考えました。

私たちの先輩が守り育ててきた伝統と文化、海に囲まれた豊かな自然を守り、安全・安心で住みやすく、活気があり魅力あふれるまち吉野にするために、ここに次のことを約束し、実行していくことを誓います。

記

1. 地域の一員としての自覚を持ち、明るく元気なあいさつを心がけ、周りの人とのつながりを深めます。
2. 吉野の美しい自然を未来に残すために、住みよいまちづくりを目指し、環境に配慮し、防災に努めます。
3. 次代を担う世代として、夢を持ち、吉野の将来を見据えて、自分たちにできることから取り組み、可能性を伸ばしていきます。

以上宣言いたします。

平成 28 年 8 月 26 日
長崎県吉野市子ども議会



市長：今回、皆さんが吉野の将来のために大いに議論をされました。このことが、吉野市を一層希望あふれるまちにすることができるものであり、吉野市の地域創生に繋がるものと確信をいたしております。

謝辞 (芦辺中学校 梅崎梨子議員)：子ども議会に参加するにあたり、いろいろな方からお話を聞き、何度も話し合いを重ね、中学生の私たちにできることは何かを真剣に考えました。真剣に考えてアイデアを出し、実行することは難しいですが、とてもやりがいがあります。私たちが住む吉野の将来を考え、活気があり、温かなまちづくりに貢献できるようにこれからの中学校生活を送っていきたく思います。

7～9月会議で決めたこと



◆芦辺小学校校舎改築工事（建築主体）請負契約の締結について

契約金額 52,704万円

契約の相手方 (株)吉川建設 代表取締役 吉川治輝

◆壱岐市防災行政無線施設条例の廃止について

壱岐市防災行政無線は、アナログ式無線により災害時等の緊急事項の通報及び連絡並びに、平常時の行政情報の伝達手段であったが、平成23年4月1日に有線告知放送が整備されたことにより運用を停止していた。この度、アナログ無線免許有効期限である平成28年5月31日にアナログ無線免許の廃止を行ったため、条例を廃止した。

◆壱岐市教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の制定について

壱岐市立小・中学校消防用設備改修工事にかかる入札執行事務不適正処理及び壱岐市立芦辺小学校校舎改築工事設計業務にかかる完成払支出負担行為等事務不適正処理に伴い、その一連の事務処理の不手際に関し、教育委員会事務局を統括し、職員を指揮監督する立場にある教育長の責任を明確にするため、地方公務員法第29条第1項第2号の規定による懲戒処分として、教育長の現行の給料を3ヵ月間、10分の1減額することを決めた。

◆人権擁護委員候補者の推薦について

本市における人権擁護委員の定数が1名増員されることとなったこと及び現委員が任期満了となることに伴い、斉藤公彦氏（勝本町）と福田容子氏（石田町）の新任推薦を了承した。

◎平成28年度補正予算

一般会計の7月～9月補正額計	779,218千円
特別会計の7月～9月補正額計	102,905千円
一般会計＋特別会計補正後の予算総額	34,828,319千円

○平成28年度各会計予算一覧

(単位：千円)

会計名	現計予算額	7月補正額	9月補正額	補正後予算額合計	
一般会計	23,023,543	194,248	584,970	23,802,761	
特別会計	国民健康保険	5,496,823		58,661	5,555,484
	後期高齢者医療	305,576			305,576
	介護保険	3,391,909		14,551	3,406,460
	簡易水道	1,054,105		1,098	1,055,203
	下水道	430,587		2,200	432,787
	三島航路	128,626			128,626
	農業機械銀行	115,027		26,395	141,422
	合計	10,922,653		102,905	11,025,558
一般会計・特別会計の合計	33,946,196	194,248	687,875	34,828,319	

○平成28年度企業会計予算一覧

(単位：千円)

会計名	内 訳	現計予算額	7月補正額	9月補正額	補正後予算額合計
水道事業	収益的収入	179,206			179,206
	収益的支出	164,473			164,473
	資本的収入	2,858			2,858
	資本的支出	29,487			29,487

どえな予算のあと？



●農地及び農業用施設災害復旧事業 83,137千円（うち県費32,490千円）

6/22～23、7/12～13の集中豪雨による災害の復旧工事を実施する。

- 設計書作成業務委託料…41箇所
 - 災害復旧工事…農地36箇所、施設5箇所（水路4箇所、ため池1箇所）
 - 小規模災害復旧工事…施設26箇所（水路20箇所、ため池1箇所、農道5箇所）
 - 災害復旧事業補助金…農地36箇所、施設8箇所（水路5箇所、ため池3箇所）
- 補正前の額2,235千円+補正額83,137千円=補正後85,372千円

●公共土木災害復旧事業 79,159千円（うち国費42,400千円 地方債22,500千円）

6/22～23、7/12～13の集中豪雨による災害の復旧工事を実施する。

- 公共災害復旧工事費…道路19箇所、河川1箇所
 - 小規模災害復旧工事費…道路12箇所、河川1箇所
- 補正前の額11,963千円+補正額79,159千円=補正後91,122千円

●学校施設災害復旧事業 4,300千円（うち国費3,040千円 地方債700千円）

7/12～13の集中豪雨により芦辺小学校体育館裏（仮設校舎含む）で土砂災害が発生し、体育館内に土砂が侵入したため、崩土除去及び災害復旧工事を行う。

●特殊詐欺等被害防止対策機器設置補助金 500千円

振り込め詐欺等の被害を防止するため、特殊詐欺等被害防止対策機器購入に対し補助する。

対象：65歳以上で構成する世帯（1世帯1台）

補助率：購入額の1/2（5,000円上限）

●生涯活躍のまち推進プロジェクト事業 12,000千円（うち国費6,000千円）

吉野市版生涯活躍のまちを実現するため、基本指針・実施計画の策定、推進協議会の設立・運営、機運向上セミナーの実施、支援メニューの策定等に取り組む。

●ふれあい交流事業 3,000千円

イキイキお結び大作戦実行委員会へ補助する。

- 参加男性向け魅力アップセミナー開催
- 市外在住女性向けライフデザインセミナー開催（福岡市）
- 市外女性との婚活イベント開催（吉野市）
- 参加女性への交通費助成
- イベント実施後の参加男性向けフォローアップ講座開催
- カップルとなった参加者に対し、その後の面会に対する旅費の助成（一部）

補正前の額3,000千円+補正額3,000千円=補正後6,000千円

●地域介護・福祉空間整備事業補助金 927千円（うち国費927千円）

入居者の起き上がり、端座位、離床などの様々な動作を検知し、表示や通報できる見守りベッドシステムを導入することにより、タイムリーで効果的な見守りを実現し、介護従事者の業務負担を軽減することにより介護従事者の確保を図る。

- 補助事業者…医療法人 玄州会（老人保健施設光風：2台導入予定）

●石田幼保連携型認定こども園敷地造成工事 17,906千円（うち地方債17,000千円）

教育・保育の量と質の向上を図り、待機児童の解消と効率的な施設運営を実現するため、石田町の幼保連携型認定こども園を整備する。

- 石田町の幼保連携型認定こども園の敷地整備工事設計業務及び敷地整備工事

●儲かるながさき水田経営育成支援事業 3,367千円（うち県費2,779千円）

TPP交渉の大筋合意や米の需要状況等を踏まえ、水田の効率的利用による低コスト化やステップアップを図る集落営農組織を育成し、水田汎用化による転作作物・高収益品目の導入拡大を推進するとともに、高温耐性優良品種の転換による「売れる米づくり」、地場産麦の供給拡大や「県産米」普及拡大等水田農業の構造改革による産地競争力を強化し、水田農業の所得向上を図るため、JA、生産組織、集落営農組織等を対象に、米・麦・大豆の生産性向上やJAが行う推進活動などの取組に対し補助する。

- 水田農業産地計画実践事業
吉野集落営農法人連絡協議会、農事組合法人原の辻・芦辺湯岳・石田東・すみよし・刈田院
- 水田フル活用推進事業
農事組合法人芦辺湯岳・原風・箱崎西部生産組合

補正前の額1,756千円+補正額3,367千円=補正後5,123千円

●イルカパーク浚渫工事 36,300千円（うち地方債33,200千円）

イルカパークは閉鎖的海域であるため、イルカの糞を含めた大量の堆積物の影響により水質が悪化しイルカの生態に悪影響を及ぼしている。よって、堆積物を除去しイルカの保護及び施設の適正な管理を図るため、イルカパークの浚渫工事とそれに伴うイルカの移設を行う。

●市道維持補修工事 84,200千円

幹線道路・生活道路の維持補修に努め、機能性・利便性・快適性の向上を図り、生活に密着した安全で人にやさしい道路として整備・維持管理を行うため市道維持補修工事を行う。

- 舗装改修工事・排水路補修工事・路肩及び防護柵補修工事

補正前の額98,200千円+補正額84,200千円=補正後182,400千円

委員会レポート



決算特別委員会

9月会議において、本委員会に付託された認定第1号平成27年度壱岐市一般会計歳入歳出決算認定について審査し、認定した。

【委員会意見】

監査審査意見書の指摘事項を重視され健全な財政運営と適切な業務処理の徹底を図られたい。

平成27年度決算額

(単位：円)

会計名	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	歳入歳出差引額 (A-B) C	翌年に繰越すべき額 D	実質収支額
一般会計	22,911,085,198	22,310,916,402	600,168,796	35,113,340	565,055,456
特別会計					
国民健康保険事業	5,772,810,030	5,570,008,843	202,801,187	0	202,801,187
後期高齢者医療事業	302,557,890	300,546,241	2,011,649	0	2,011,649
介護保険事業	3,261,697,710	3,206,354,894	55,342,816	0	55,342,816
簡易水道事業	865,663,745	863,440,945	2,222,800	0	2,222,800
下水道事業	457,004,466	456,679,752	324,714	0	324,714
特別養護老人ホーム事業	813,671,926	741,214,094	72,457,832	0	72,457,832
三島航路事業	124,928,611	124,928,611	0	0	0
農業機械銀行	144,274,807	129,689,492	14,585,315	0	14,585,315
合計	11,742,609,185	11,392,862,872	349,746,313	0	349,746,313
一般会計・特別会計の合計	34,653,694,383	33,703,779,274	949,915,109	35,113,340	914,801,769

未収金一覧

(単位：千円)

未収金内訳	27年度	26年度	増減額
市税	271,879	278,098	△ 6,219
分担金・負担金	5,429	5,419	10
使用料・手数料	27,083	28,701	△ 1,618
財産収入	4,040	3,459	581
諸収入	23,482	23,998	△ 516
国民健康保険税・諸収入	277,934	306,703	△ 28,769
後期高齢者医療保険料	2,571	2,528	43
介護保険料	42,827	39,142	3,685
簡易水道使用料	37,958	36,620	1,338
下水道使用料・負担金	1,033	1,076	△ 43
特別養護老人ホーム負担金	1,015	1,048	△ 33
農業機械銀行使用料	108	128	△ 20
合計	695,359	726,920	△ 31,561

産業建設常任委員会

9月会議において、当委員会に付託された議案4件、認定4件、要望3件を審査した。

議案第60号あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について及び議案第64号平成28年度壱岐市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)、議案第65号平成28年度壱岐市下水道事業特別会計補正予算(第1号)、議案第66号平成28年度壱岐市農業機械銀行特別会計補正予算(第1号)については原案のとおり可決し、認定第5号及び第6号、第9号、第10号を認定した。

また、要望第1号及び第5号(平成27年)については採択、要望2号については不採択とした。なお、要望第3号地球温暖化防止対策のために4庁舎の屋上に太陽光発電設置についての要望については継続審査することとした。

【委員会意見】

認定第5号平成27年度壱岐市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について及び第6号平成27年度壱岐市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定については、先進自治体を参考にしながら税やその他使用料等の担当課と一体となった滞納者対策一元化の体制づくりや取り組みを早急に図ること。

要望第2号は、参道東側駐車場内に市で整備した水洗式トイレが設置してあるため、そのトイレを充分活用することで観光客の利用に支障を来すことはない判断したため、不採択とした。

要望第5号(平成27年)の出資に関することは、航路就航後の協議事項と思われるが、壱岐市経済の活性化及び交流人口の拡大等に大きく寄与することから壱岐島民も大きな期待を寄せているところである。離島における航路の重要性を充分鑑み、1日も早い運行開始に向けてより一層のご尽力を賜りたい。

■ 予算特別委員会

9月会議において、本委員会に付託された議案第61号平成28年度吉崎市一般会計補正予算（第4号）について審査し、総額5億8,497万円の追加予算を原案のとおり可決した。

■ 総務文教厚生常任委員会

9月会議で付託された議案4件、認定5件を審査した。

議案第59号吉崎市防災行政無線施設条例の廃止について及び議案第62号平成28年度吉崎市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）、議案第63号平成28年度吉崎市介護保険事業特別会

計補正予算（第2号）、議案第68号吉崎市福祉医療費の支給に関する条例の一部改正については原案のとおり全会一致で可決し、認定第2号及び第3号、第4号、第7号、第8号については全会一致で認定した。

また、教育委員会の芦辺小学校校舎改築設計業務について、調査を行った結果は次のとおり。

（調査結果）

委員会で調査対象となる業務について、教育委員会及び受託者である㈱m3建築事務所 代表取締役 川本雅史氏を参考人として出席要請し説明を求めた。

（1）起案の時期は適切であったか

平成27年度執行の芦辺小学校校舎改築設計業務については、工期を平成27年7月8日から平成28年2月29日までとし、約8ヶ月の期間をとっており起案の時期については、適切であったと思われる。

（2）㈱m3建築事務所の入札参加の適切性

本業務の入札時において、吉崎市内の設計業者2社が指名停止で、5社しか残っていない状況の中、耐震等の業務で、手一杯の状況も見込まれるので、入札には、吉崎市内の5社及び、吉崎市一般競争入札参加資格登録が有る業者の中から、構造計算ができ、過去において幼稚園、小学校等の設計実績のある業者を福岡から中堅クラス3社いれていることから、妥当と判断する。

（3）落札後の工程管理の適正化

工程管理については、建築整備課の専門の技術者も交え工程会議を再三にわたり行い、チェックにはあたっていたが、県振興局との事前協議を進めていくなかで、建築確認許可（済証）は工事着工前までに下りればよいとする県振興局と同様の認識で事務を執行していたため、適正でなかったと思われる。

（4）成果物と出金の適否

契約書の特記仕様書の中に、提出の成果物には、各種申請書となっており、明確に建築確認許可（済証）というものはない。教育委員会は、㈱m3建築事務所より、契約期間内の3月31日に成果品の提出があり、一部修正を指示し、4月11日に完成図書を受理した

が、その後、書類精査を進めるなかで、工事着工には不可欠である建築確認許可（済証）が下りていないことが判明したため、契約書中第41条の瑕疵担保にあたりと判断し早急な修補を求め、6月28日に建築確認許可（済証）の交付を受けた。

一方、このような状況の中にありながら、完成図書を4月11日に受理し、また、出納閉鎖も近づいていることから、完成払いの支払い事務を進め、5月30日に受託者に対し契約金の振込を行っている。

以上の事案は、本年の3月当初において、業務が完成するものと思い、繰越明許を行わなかった判断ミスにある。

（5）処分の妥当性

今回の業務の遅延の1番の原因は、㈱m3建築事務所の工期に対しての認識の甘さ、不誠実で怠慢が主因であるが、担当部署の指導監督がバランスの欠如も一因であると指摘せざるを得ない。よって懲罰委員会の下した処分について、本委員会として妥当なものとし尊重する。

（6）改善点と再発防止策

改善点と再発防止策については、委員会としても具体的な策が必要であると指摘していることから、吉崎市随意契約ガイドラインの改正を平成28年2月24日に新たに適正な予定価格の設定を追記、公共工事の入札結果及び契約内容の公表方法についてを平成28年4月1日より施行、随意契約理由書の様式を平成28年4月1日より統一、契約事務研修を全職員を対象に実施（現在まで、第1回目：4月18日、第2回目：9月5日）、設計業務提出物チェックリストの作成、各部長・各課長等会で入札契約事務の周知徹底を行っている。

【委員会意見】

教育委員会の芦辺小学校校舎改築設計業務について、当委員会の調査では、刑法に違反している事実は認められなかった。しかし、㈱m3建築事務所に対しては、契約書第42条「履行遅滞の場合における損害金等」に基づき、4月1日から建築確認許可（済証）が下りた6月28日の89日間

の2.9%の125,200円の支払いと、6ヶ月間の指名停止。行政職員に対しては被処分職員2名、管理監督責任3名に10分の1の減給を1ヶ月から3ヶ月という懲戒処分が行われたので、このような事案が再び発生し、市政に対する疑念・疑惑を招くことがないように、再発防止に全力で取り組んでもらいたい。

議案と審議結果一覧表（7月～9月会議）

開催月	議案番号	議 案 件 名	付託委員会	本会議採決結果	
7月	議案第 57号	平成28年度壱岐市一般会計補正予算（第3号）	省略	7/29	可決
	議案第 58号	芦辺小学校校舎改築工事（建築主体）請負契約の締結について	省略	7/29	可決
9月	報告第 9号	平成27年度公益財団法人壱岐栽培漁業振興公社に係る経営状況の報告について	—	9/7	報告済
	報告第 10号	平成27年度壱岐空港ターミナルビル株式会社に係る経営状況の報告について	—	9/7	報告済
	報告第 11号	平成27年度株式会社壱岐カントリー倶楽部に係る経営状況の報告について	—	9/7	報告済
	報告第 12号	平成27年度一般財団法人壱岐市開発公社に係る経営状況の報告について	—	9/7	報告済
	報告第 13号	平成27年度壱岐市財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	—	9/7	報告済
	議案第 59号	壱岐市防災行政無線施設条例の廃止について	総務文教厚生	9/21	可決
	議案第 60号	あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について	産業建設	9/21	可決
	議案第 61号	平成28年度壱岐市一般会計補正予算（第4号）	予算特別	9/21	可決
	議案第 62号	平成28年度壱岐市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	総務文教厚生	9/21	可決
	議案第 63号	平成28年度壱岐市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	総務文教厚生	9/21	可決
	議案第 64号	平成28年度壱岐市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	産業建設	9/21	可決
	議案第 65号	平成28年度壱岐市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	産業建設	9/21	可決
	議案第 66号	平成28年度壱岐市農業機械銀行特別会計補正予算（第1号）	産業建設	9/21	可決
	議案第 67号	壱岐市教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の制定について	省略	9/2	可決
	議案第 68号	壱岐市福祉医療費の支給に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	9/21	可決
	認定第 1号	平成27年度壱岐市一般会計歳入歳出決算認定について	決算特別	9/21	認定
	認定第 2号	平成27年度壱岐市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務文教厚生	9/21	認定
	認定第 3号	平成27年度壱岐市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務文教厚生	9/21	認定
	認定第 4号	平成27年度壱岐市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務文教厚生	9/21	認定
	認定第 5号	平成27年度壱岐市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	産業建設	9/21	認定
	認定第 6号	平成27年度壱岐市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	産業建設	9/21	認定
	認定第 7号	平成27年度壱岐市特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務文教厚生	9/21	認定
	認定第 8号	平成27年度壱岐市三島航路事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務文教厚生	9/21	認定
	認定第 9号	平成27年度壱岐市農業機械銀行特別会計歳入歳出決算認定について	産業建設	9/21	認定
	認定第 10号	平成27年度壱岐市水道事業会計決算認定について	産業建設	9/21	認定
	要望第 1号	壱岐・唐津30Kmの海底送電線の早期着工の要望	産業建設	9/21	採択
要望第 2号	男岳神社駐車場トイレの新設についての要望	産業建設	9/21	不採択	

開催月	議案番号	議 案 件 名	付託委員会	本会議採決結果	
9月	要望第 3 号	地球温暖化防止対策のために四庁舎の屋上に太陽光発電設置についての要望	産業建設	継続審査	
	(平成27年) 要望第 5 号	「杵岐～福岡間の通勤・通学航路」運航についての要望	産業建設	9/21	採択
	諮問第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	9/21	了承
	諮問第 2 号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	9/21	了承
	発議第 6 号	「博多～杵岐～対馬間の通勤・通学航路」就航に関する意見書の提出について	省略	9/21	可決

※ 賛否（賛成、反対）のあった議案

○・・・賛成 ×・・・反対

議案名番号 (8頁表参照)	赤木 貴尚	土谷 勇二	呼子 好	音嶋 正吾	小金丸 益明	町田 正一	今西 菊乃	市山 和幸	田原 輝男	豊坂 敏文	中田 恭一	久間 進	市山 繁	牧永 護	深見 義輝	賛 成	反 対	結果
議案第67号 杵岐市教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の制定について	○	○	×	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	11	3	可決
認定第1号 平成27年度杵岐市一般会計歳入歳出決算認定について	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	3	認定
要望第2号 男岳神社駐車場トイレの新設についての要望	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	2	13	不採択

鵜瀬和博議員は議長のため裁決には入りません。

議員発議

意見書の提出 「博多～杵岐～対馬間の通勤・通学航路」就航に関する意見書

離島にとりまして、航路は人・物の流通手段として市民生活及び産業経済の活性化に欠かすことのできない重要な役割を果たしている。

離島航路の存続・維持や利用者の利便性向上など、離島航路が果たす役割や期待も大きく、離島の保全及び振興はこれからも喫緊の課題である。

そのような中、杵岐対馬シーライン株式会社が「博多～杵岐～対馬間の通勤・通学航路」就航を目指し、九州運輸局へ一般旅客定期航路運航許可の申請中であるが、本市にとりましても離島航路運航業者が新規参入することは、市民生活としての足の確保や輸送人員の増強及び交流人口の拡大など、更なる振興策が図れると考える。

については、下記のとおりご配慮賜るよう求める。

記

1. 港湾管理施設について

寄港地である杵岐市・対馬市及び福岡市の港湾管理施設（岸壁・可動橋・人道橋・券売所・待合所等）の円滑な共用が図れるようご配慮賜りたい。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

長崎県杵岐市議会

(提出先)

長崎県知事、福岡市長

一 般

質

問



7人が登壇

「市政を質す」

一般質問とは、普段の議員活動の中で考え得たことを公表し市政に関する疑問点を質し、市民の要望に叶う施策を問う場。



呼子 好議員

◎市長は対立候補を応援した業者を指名外し

①市長選挙で白川候補を応援せず、対立候補を応援した理由で、市発注の指名競争入札から業者を外した。業者は、7月廃業、

従業員全員解雇となった。指名審査委員会に誰が業者を外す指示をしたのか。

②業者を指名から外したことについて「業者との信頼関係が崩れた」と言明されているがその意味は。

③前回の市長選挙でも指名外しはしたのか。

④選挙の報復として指名から外すことは、権力と予算の執行権を握る現職による選挙の支配につながり、民主主義の根幹を揺るがす重大な問題である。離島の壱岐では、とんでもないことがまかり通っている。

▲現状での言及は控える

市長

①業者を外すのは、私が指示した。

②③④この場で私の見解を申し上げることは控える。刑事告発等がなされた場合に対応したい。

◎福岡事務所の機能強化を

①福岡事務所を、企業が多い博多駅の近郊か人通りの多い天神近郊に移転し、福岡壱岐人会と連携した事務所の開設を検討しては。

②職員2人体制で情報の提供や営業活動に2人3脚で行動できる体制を。

五島市は、2年前に東京、福岡市に事務所を構え、2人体制で成果が出ている。



福岡事務所

▲私も同感

市長

①財政面の負担は増えるが、人がいる所に事務所をつくりたいということで、壱岐が大々的に発信できる場所を探している。

②壱岐を売り出す、営業が大事である。企業の協力等をいただきながら、いろいろなイベントを通じて壱岐を売り込んでいく。



市山 繁 議員

◎ 芦辺中学校校舎建て替え用地について

① 芦辺中学校校舎建て替え用地は旧那賀中学校に決定しているが、旧那賀中学校の校舎は築後50年を経過し、狭隘で4教室

が不足する。

② 学舎は、子どもの学習環境づくりが大切。状況を考慮して、校舎を解体、新築した方が得策である。

▲ 校舎を新築したい ①市長 ②市長、教育長

① 校舎建設については、安心安全で長持ちする校舎を新築することが、この機会に最も重要なこと。ぜひ、建てたい。

② 【市長】私は、新築する方向で進めたいと考えている。早く決断をして早期着工を図りたい。

【教育長】建設予定地選定の中で、保護者は、第1に、安全安心の場所としての環境、第2に、子ども達が学習、スポーツに集中できる環境づくりの一つとして校舎建設の要望もあっている。

◎ イルカパークの運営について

イルカパークの運営は厳しい状況である。平成7年の開園当初から入園料も改定されておらず、必要経費も増額している。イルカパークは、苓岐市の観光の目玉であり、価値や魅力のある施設を整備し、イルカパークの入園料も改定されては。

▲ 入園料は検討していきたい 市長

入園料を上げるには、満足いただける施設を整えなければいけない。イルカパークの浚渫等やイルカを増頭していく中で、入園料については考えていきたい。



イルカパーク



赤木 貴尚 議員

◎ 苓岐市総合戦略について

① 苓岐市総合戦略において施策や特徴は何か。

② 現時点での達成状況は。

▲ 苓岐市総合戦略について 市長

① 苓岐市創生に向けた雇用創出、ひとの流れ、子育て支援、安心安全なまちづくり、の4つの基本目標。その目標達成のために農水産業振興、観光振興、定住促進といった10のプロジェクトを立ち上げ、向こう5年間で取り組む。

② 計画は平成27年10月に策定、実施は平成28年度予算から始まる。平成28年度の達成状況については、平成29年度に調査、分析を行う。

◎ 苓岐市への移住・定住について

① 移住・定住者への苓岐市の売りは何か。他市と比べて弱いところは何か。

② 移住・交流推進機構へ情報提供してはどうか。

③ 苓岐市ふるさと納税者へ、お試し滞在・滞在費用割引を行っては。

④ 現在までの移住者の把握、サポート相談体制は整っているか。

⑤ 苓岐市への移住成功例・失敗例を把握し分析しているか。

▲ 苓岐市への移住・定住について 市長

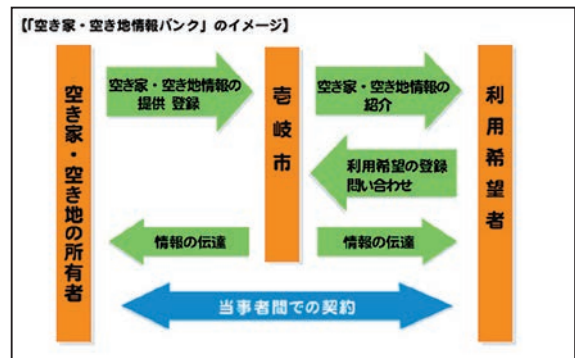
① 苓岐はここが強いぞ、ここは弱いぞとは言えない。

② 移住・交流推進機構の移住情報ポータルサイトに苓岐市の情報は掲載されていない。苓岐市では、苓岐市役所ホームページにて島暮らし体験・仕事・空き家バンクの情報を提供している。

③ 個人情報の観点から非常に厳しい。

④ 把握していない。

⑤ 窓口を介して3名が移住している。本年度は、17名の相談があったが、非現実的な要求があって移住にはつながっていない。



苓岐市ホームページより



田原 輝男 議員

◎大谷スポーツ施設について

- ①同じ施設の中に建設部、市民部、教育委員会の3つの管理部署があるが管理部署の統一ができないか。
- ②大谷グラウンドのナイターの使用料について、一般の使用料金とジュニアのスポーツクラブが使用した場合の料金が同じ。ナイター設備がない小学校が使用する場合の料金の見直しができないか。

③大谷の掲示板については、掲示板の機能が果たされていない。

▲見直していく **教育長**

- ①利用申請や鍵の受け渡し等について、可能な方向で窓口の一本化を検討したい。
- ②例えば、県大会・九州大会の出場権を得た場合、1/2減免する等の具体的な方向を検討する。
- ③この掲示板をやり直す。

◎スクールバスの見直しを

芦辺中学校は旧那賀中学校で決定となり、スクールバスルートは一部で見直しと思われるが、アンケート調査をする等して、この際、全体的に見直しは。

▲適切な時期がくれば検討する **教育長**

アンケートの実施は考えていない。4つの中学校とは連絡会をして、実態を把握し、保護者や生徒の意見を聞きながら、適切な時期と判断した場合に検討委員会等の立ち上げ等を考える。

◎安心して通学できるよう道路整備を

- ①道路について、特に、宮ノ原久喜線・志原南本線等、通学路もあるので、安心して通学できるよう整備をしてほしい。
- ②道路幅が広く、子どもやお年寄りが横断しにくいのが、福泉のところに信号機の設置はできないか。



福泉・横断歩道

▲全線的な改良は非常に厳しい **市長**

- ①壱岐市通学路交通安全プログラムに基づき、児童等が安心して通学できる歩行空間確保の実現を図っている。財政事情により全線的な改良は非常に厳しい状況にあるので、車輛の離合場所の整備、見通しの悪い箇所の解消、また、側溝蓋の整備等低コストでできる工夫も検討したい。
- ②警察では、交通量調査を行ったうえで、信号機設置はできないとの判断をされている。信号機の設置はできないが、取り締まり等を強化することにより、児童等の通学の安全確保を図るとの判断である。

◎唐津～長崎路線レインボー壱岐号

乗客が減っても、市民の足として観光の面から見ても1日1往復でもいいから必要ではないかとお願いをしていたが、その後どうなっているか。

▲引き続き要望 **市長**

引き続き要望していきたい。レインボーの再開とは別に、観光ルート開発の名目で唐津市及び長崎市と定期観光バスの運行についての意見交換を行っており、この唐津～長崎のバス路線が開設されるとレインボーに代わるものになるのではないかと考えている。



音嶋 正吾 議員

◎特色ある地域創生を

- ①地域の特性を活かした補助メニューを模索すべき。
- ②物、人が移動する手段としての道路整備を、自然景観、地域特性を発信可能なシーニックバイウェイ構想に取り組む必要性

について。

- ③ウルトラマラソンを壱岐市民の一体感を醸成する企画としては、どうか。盲人ランナー・車いすマラソンランナー招聘を考慮してはどうか。

▲市民との一体感を涵養 **市長**

- ①国の事業や、地方創生推進交付金を最大限活用し、産官学金労言等との連携強化を図り振興策推進に取り組む。
- ②維持管理面で問題も懸念されるが、機運が高まるならば観光振興に寄与するので、積極的に取り組んでまいりたい。
- ③コースの現状において、改善が必要なことも山積するが、極力さまざまな人の参加が可能な大会にしていきたい。



壱岐ウルトラマラソン

◎助成金の交付は適正か

中野郷地区コミュニティーセンターは、当初、流八幡神社の社務所として建設予定であった。自治総合センター補助金を壱岐市が認定し1,500万円の助成金交付を受けている。憲法20条、憲法89条に抵触しないか？

▲適法である **市長**

市では所定の申請様式に添付書類が揃っているかチェックする。壱岐市の地縁団体の許可については、おおむね9割近くの同意があれば、地縁団体の認可を許可する。他の組織についても、壱岐市は県を通じて、自治総合センターに進達する。用地が神社所有であろうが、賃貸契約書が添付されており、適法である。政教分離の法律、公金支出に関する法律に違反しない。



深見 義輝 議員

◎ 国境離島新法について

- ①官・民・議会で協議会が設置されたが、行政としての基本的な方向性は。
- ②今後、第2次壱岐市総合計画に反映され見直しも含め検討するのか。

▲ 具体的施策の協議を 市長

- ①民間経済団体の期成会と市とで約170項目の施策提案がある。
- ②国・県の動向を注視しながら、総合計画、総合戦略の見直しも含め具体的な施策を図る。

◎ 安全なまちづくり

- ①危機管理課を設置されたが、その機能はどのように図るのか。
- ②各自治公民館で自主防災組織が編成されたが、その体制強化は。

▲ 市民を守る体制を強化する 市長

- ①防災意識の普及・啓発と避難訓練の実施、計画の見直し等防災機能の向上を図る。
- ②自主防災組織が自主的に実施する避難訓練等に行政も協力し、このような活動を他の組織に広げていくことにより体制強化を図る。



原子力防災訓練（スクリーニングの様子）

◎ 活気ある産業

- ①島外資本の企業誘致による農業基盤強化を。
- ②新規就農者対策は、農業種別に柔軟な施策が必要では。

▲ 関係機関と協議していく 市長

- ①他地域の事例調査・情報収集を行い、実現可能であるか検討を図る。
- ②国・県の事業を最大限活用し、新規就農者対策を積極的に推進する。

◎ 優しい教育

- ①全国的な青少年の事件に対する教育委員会の本市における対応は。
- ②気象現象の変化に対応した学校での健康面のケアは。

▲ 手を差し伸べていく教育行政を進める 教育長

- ①心の相談員や地域組織・こども110番の家など各団体と連携を図る。
- ②学校では、日頃から持っている危機管理マニュアルをもとに、校内の設備も考慮して、児童・生徒の体調管理に努めている。



中田 恭一 議員

◎ 住宅リフォーム補助金は

平成27年度で終わっている住宅リフォーム補助は、平成25年度から平成27年度までの3年間で384件の事業実績が上がっており、経済効果が大きい。今後も継続してはどうか。

▲ 継続の方向で 市長

景気対策として、大きな成果があったものと考えている。検証をして、29年度から前向きに考えていきたい。

◎ 街なみ改修補助事業は

今年度で事業が終わる街なみ改修事業は、まだまだ効果が現れていない。国へ要望し、続けてほしい。改修地区もある程度限定しては。

▲ 延長したい 市長

平成29年度から4年間の事業延長を県へお願いしている。



勝本浦の街なみ

◎ 勝本港埋め立ては

勝本港の埋め立ては、道路拡張も含めて行っては。道路が狭くて危険である。

▲ 県と協議する 市長

県と協議して方向性を決めて行く。

◎ 歳入確保対策会議に期待

若い職員で構成する歳入確保対策会議に大変期待をする。若い職員の斬新な意見をどんどん取り入れてほしい。

▲ 壱岐市の発展につながる 市長

私も期待をするし、意見も取り入れていきたい。

ICT推進特別委員会から

事例発表 in 自治体向けタブレット端末ICT推進セミナー

8月3日福岡市薬院ビルで開催された自治体向けタブレット端末ICT推進セミナーにおいて、ICT推進特別委員会の中田委員長が議会のICT化「離島市議会のチャレンジ」と題したタブレット端末導入の事例発表を行いました。この福岡会場のセミナーには、関西から九州までの議員、議会事務局の関係者約50名が参加され、今後、更なる自治体議会ICT化の推進が期待されるところです。



壱岐市へようこそ!!

壱岐市議会は、壱岐の活性化を図るため、他市町村議会を訪問し、行政調査を行っています。本市へも各市町村議会から行政施策等の事業調査及び意見交換を目的として来島されています。

今年度の視察団は以下のとおりです。

(平成28年10月14日現在)

期 日	議 会 名	会 派 等	人 数	議 題
7月25日	小林市議会 (宮崎県)	経済産業 委員会	7	【農業振興プロジェクト (生産基盤強化・後継者対策・畜産業)】 ・壱岐牛の生産体制強化について ・繁殖牛増頭対策 (キャトルセンター) の取り組みについて ・JA壱岐市キャトルセンターの現地視察
8月22日	杵築市議会 (大分県)	議会活性化 特別委員会	10	議会ペーパーレス化事業について (タブレット)
8月25日	那珂川町議会 (福岡県)	新未来 なかがわ	1	議会でのタブレット端末導入について
10月14日	太宰府市議会 (福岡県)	ICT推進 研究会	10	議会でのタブレット端末導入について



「議会だより第50号」クイズ応募者より
9月30日までいただいた
ご意見ご感想です。
(応募者数20人中 正解者20人)

市民の声

将来は吉岐
で働きたいで
す。 12歳

高齢の議員さ
んもおられるので
暑い中、大事な議会
を欠席せぬよう健康
に留意してくださ
い。

人口が減少して
市政も色々大変だ
と思いますが、吉岐は
すごく魅力のある島だ
と思います。これから
も頑張ってください。
51歳

毎回楽しみにし
ています。これから
も議会だより頑張っ
てください。ウルトラ
マラソン!! ご成功
祈ります!!

先日、初めて『女性
のための“おしごと相談
会” in 吉岐』を利用させて
いただきました。キッズスペース
も有り、子連れで安心して行け
ましたが、利用者が少ないと
のこと、もっと宣伝して広
めてほしいです!! 28歳

台風のシーズン
になりました。いざ
という時の為の「防災
マニュアル」を家族で
確認したいと思
います。 44歳

辰ノ島フェス
ティバル行ってきまし
た。海もきれいでお土
産いっぱいもらってサ
イコーに楽しかった
です!! 44歳

毎回見えています。
いろいろ知って勉強にな
りますが、市民の目で見ると
もう少しがんばってほしいです。
4町の町はだんだんさびしく感
じられます。将来の子供たちの
ためにも、今が大事だと思
います。市民の声を聞いて
ください。 34歳

吉岐市子ども議
会で今現在、子ども
達が考えて発表したこ
とが、1つでもかなう
様に期待します。
64歳

「子ども議会」の
開催とても良い事だ
と思います。選挙権年齢が引
き下げになった今、小学生
高学年頃から議会の見学を
させてもよいのでは……!?
と思います。 44歳

吉岐空港開港50周年記念イベント



クイズに答えて図書カード(1,000円)が当たります。皆さんのご応募待ってま〜す!!

議会だよりクイズ

この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後まで良く読んでみてください。



Q1

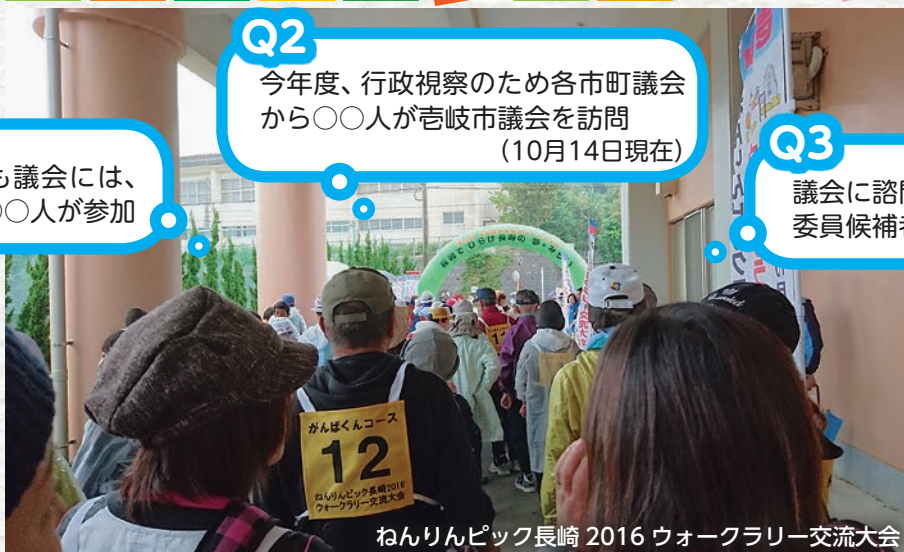
今年の子ども議会には、子ども議員〇〇人が参加

Q2

今年度、行政視察のため各市町議会から〇〇人が吉野市議会を訪問(10月14日現在)

Q3

議会に諮問された〇〇〇〇委員候補者の推薦を了承



ねんりんピック長崎 2016 ウォークラリー交流大会

前回クイズの答え

- ①離島 ②子ども ③10

前回クイズの当選者

草谷 龍一 様 富場美紀子 様
中西明日香 様 松崎 和也 様
山川 清子 様

《応募方法》クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。議会だよりを読んだご感想や、市政へのご意見・ご要望などお書き添えください。ご意見などは、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円分をお贈りします。(当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》〒811-5521
吉野市勝本町西戸触182-5
吉野市議会事務局 宛

《しめきり》平成28年11月30日(当日消印有効)



おめでとうございます!

《個人情報の取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表および『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。

編集後記

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉が昔から言い伝えられています。彼岸もとっくに過ぎ、しのぎやすい季節となりました。今年の夏は、今までになく雨も降らず暑い日が続きました。が、夏バテは大丈夫でしょうか。異常気象により台風が発生数、コース等過去にはなかった事が起こっていますが、農・水産業にも大きな影響を与えているようです。

議会も入札、設計等の問題で今までにないアツイ議会が続きましたが、そろそろ落ち着きを取り戻してほしいものです。

委員会スタッフ一同頑張っています。愛読者の皆さんのお気づきの点があれば、広報特別委員会へ。

議会広報特別委員会
委員長 赤木 貴尚
副委員長 呼子 好
委員 市山 勇二
田原 和幸
久間 輝男
進

久間 進

お知らせ

吉野市ホームページ



<http://www.city.iki.nagasaki.jp>の市議会のインデックス(見出し)を検索すると、市長行政報告および議員の一般質問の音声を生で聞くことができます。また市議会会議録は、議会事務局・市役所本庁(総務課)・各庁舎(市民生活班)・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。

公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・見舞い等の金品を送ることや、暑中見舞い・年賀状などの挨拶状や有料の広告は禁止されております。市民みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

吉野市議会議員一同

編集 議会広報特別委員会

〒811-5521
長崎県吉野市勝本町西戸触 182-5
TEL: 0920-42-1111
FAX: 0920-42-0096
【E-mail】 iki-gikai@city.iki.lg.jp
【URL】 <http://www.city.iki.nagasaki.jp>



吉野市議会だよりは地球に優しい植物油インキで印刷されています。